

4つの
免許
資格

- ☑ 小学校・特別支援学校・幼稚園・保育士
1種免許 1種免許 1種免許 資格
- および社会福祉主事任用資格の免許・資格を組み合わせ、取得可能
- ☑ 1年生から子どもに関わる現場での経験が豊富：市内外の小学校・幼稚園と連携
- ☑ 少人数の担任制+1年からのゼミ+ピアノの個人レッスン



～自信をもって就職活動にのぞむための取組み～
「『夢』を叶える塾」(通称：夢かな)

将来なりたい自分(夢)を見つけ、その夢を実現するために必要な学びの習得を目的とした課外授業です。最終的には、4年間の大学生を送りながら自分の将来の「夢」をしっかりもち、自信をもって就職活動に臨むための取組みです。毎週1回年間30回以上実施します。

夢かな I
1年生対象

一般企業、行政、保育園、幼稚園、小学校でご活躍されている方をお招きして、「夢」について語っていただきます。



夢かな II
2年生以上対象

◇一般試験対策
職種理解、履歴書の書き方、論文の書き方などの講義を受けながら、教育関係だけでなく一般企業就職への活動にも必要な知識と技能を身につけるようにします。

◇専門試験対策

- 「小学校・特別支援学校教員希望学生」対象…教員採用試験合格のために必要な基礎的・基本的な内容を中心に学びます。
- 「幼稚園教員・保育士希望学生」対象…保育現場に強く求められている豊かな表現力育成を目的に、リトミック、紙芝居、わらべうたなどのワークショップを中心に行っています。また、幼稚園・保育士登録試験を受験する学生を対象に、一般教養・専門科目の試験対策を毎週実施しています。そのうち数回「公務員試験セミナー」による「幼保模試」(受験料無料)も行います。

東京アカデミー 教員採用試験対策講座

年間52回の「教員採用試験対策講座(約102時間)」を実施して、教員採用試験に必要な基礎力の養成と知識の定着を促します。本講座は、受験対策総合予備校である東京アカデミーによるもので、土日の休日や夏休み等に本学部キャンパスで行います。受講料は大学の補助があります(テキスト代は自己負担)。「夢をかなえる塾II(教員採用試験対策)」に加えて、本講座でも学ぶことで、さらに小学校採用試験に自信をもって臨めるようにします。

学費免除制度・入試日程

保育技術検定特待生制度(子ども教育学科対象)

- 1級(全種目)合格者・・・初年度授業料半額(500,000円)免除
- 1級(3種目)合格者・・・初年度授業料四分の一(250,000円)免除
- ※他の特待生・免除制度との併用不可。ただし、都城地区入学金額免除制度とは併用可能
- メ切は、平成30年3月30日(必着)で、入学願書と同時に申し込みを行います。



入学金	減免額	免除制度	対象
	全額免除	特待生推薦入試 社会人入試 都城地区入学金額免除 南九州学園入学金額免除 沖縄及び鹿児島諸島奨学金 OB教員推薦	特待生 合格者 都城地区高等学校卒業または卒業見込み者 都城市の住民並びに住民の子 ・本学または南九州短期大学に入学したことがある者 ・2親等以内の親族が、本学または南九州短期大学のいずれかに入学したことがある者 ・入学予定年度に複数の兄弟姉妹が同時に本学または南九州短期大学のいずれかに入学するときは、これらのうち後順位の者 沖縄県・鹿児島県諸島出身の合格者 10B教員につき1人
半額免除	特待生推薦入試 子ども教育学科推薦入試 I 期・II 期指定校	特待生に採用されなかった指定校からの合格者 指定校からの合格者	

授業料	減免額	免除制度	対象
	全額免除	一般入試 I 期待待生 センター試験利用入試特待生	入試成績学部 1 位の者 平均 85 点以上の者
	半額免除	一般入試 I 期待待生	入試成績学部 2 位の者

宮崎県保育士修学資金貸付

宮崎県では、現在保育士養成施設に通う学生に対し、学費、入学準備金及び就職準備金の貸し付けが行われています。

①貸付額：学費 月5万円以内、入学・就職準備金 各20万円以内
 ②返還免除要件：卒業後1年以内に保育士登録を行い、県内の保育所等において5年以上保育士として勤務

試験日程	試験区分	出願期間(必着)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	
					一次	二次
一般入試	II期	2/26(月)～3/8(木)	3/14(木)	3/19(月)	3/23(金)	
		3/12(月)～3/16(金)	3/22(木)	3/27(月)	3/30(金)	
	I期	1/15(月)～2/2(金)	-	2/15(木)	3/1(木)	3/15(木)
		2/26(月)～3/9(金)	-	3/19(月)	3/23(金)	
センター試験利用入試	II期	3/12(月)～3/20(木)	3/27(月)	3/30(金)		
	I期	10/23(月)～11/10(金)	11/19(日)	11/29(木)	12/13(木)	12/22(金)
社会人入試 帰国生特待入試	I期	2/26(月)～3/8(木)	3/14(木)	3/19(月)	3/23(金)	
	II期	2/26(月)～3/8(木)	3/14(木)	3/19(月)	3/23(金)	
AO入試	④	1/15(月)～1/22(日)	2/4(日)	2/15(木)	3/1(木)	3/15(木)
	⑤	2/26(月)～3/6(木)	3/14(木)	3/19(月)	3/23(金)	

奨学金制度(貸与)

南九州学園奨学金(貸与・要返還)
 ①貸与金額 月額5万円or3万円(無利子)
 ②返還方法 卒業後貸与期間の2倍の期間内の返還

日本学生支援機構奨学金(旧日本育英会)第一種
 ①貸与金額 月額5万4,000円(無利子)
 ②返還方法 卒業の年月より6ヶ月経過後、20年以内に貸与総額を月賦または併用で返還

入試に関する問い合わせ・出願受付

南九州大学 学生支援課(宮崎キャンパス)
 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1-2
 TEL: 0985-83-3585

土日祝及び本学所定の休日を除く8:30～17:00
 ※土日祝日及び本学所定の休日の出願に関しては、郵送のみの受付となります。

オープンキャンパス

平成30年
3月25日(日)
 9:30～13:30
 (受付 9:00～)

・学食体験 ・模擬授業
 ・施設見学
 など盛りだくさん!
 ぜひ来て下さい!

子ども教育学科 ニュースレター

平成30年1月発行 第20号

平成30年度 教員採用試験結果(平成29年12月20日現在)

公立学校教員・地方公務員採用選考最終試験

25名合格

公立小学校教員・特別支援学校教員
19名合格

地方公務員(警察・公立保育所)
6名合格

(公立学校教員・地方公務員一次試験) **35名合格**



宮崎県公立学校・特別支援学校教員採用試験

11名合格

地方公務員(宮崎県) **5名合格**

※既卒者含む

現役合格者の声

小学校教諭 武永 はるな (都城商業高校出身)



この度、宮崎県教員採用試験に合格することが出来ました。試験に臨むにあたり、一次試験の対策では、大学が準備した対策講座に2年生から参加しました。二次試験対策講座にも参加し、友人や卒業した先輩方と一緒に何度も練習を繰り返しました。地域の小学校の先生方からもご指導・ご助言をいただきました。

この「合格」は、家族や友人、大学や地域の先生方など、たくさんの方の応援があったからこそ手に入れられたものです。感謝の気持ちを忘れず、これからも日々努力していきたいです。

特別支援教諭 桑波田 尚輝 (福岡県立京都高校出身)



この度、福岡県教員採用試験に合格することが出来ました。遊んでばかりの大学生活でしたが、それではだめだと心を入れ替え、試験対策に取り組みました。試験に臨むにあたり、大学での試験対策は自分の自信につながり、同じ夢を追いかける友達の存在もとても大きかったです。二次試験の面接や模擬授業はとても緊張しましたが、笑顔で自分の考えや熱意をアピールすることを心がけました。

今後は、家族に恩返しをする意味でも日々精進し、子どもたちに寄り添った先生になりたいと思います。

都城市役所職員(保育士) 春田 梨沙 (加治木高校出身)



私は大学での様々な学習や実習を通して保育士になりたいと強く思うようになりました。都城市役所の保育士として働くことを目標に、毎日コツコツと公務員試験に向けて勉強しました。アルバイト先に相談し、試験が終わるまでお休みを頂くことで、勉強に集中することが出来ました。一次試験と二次試験

に対して、緊張や不安はありましたが、これまでの努力を信じて、自分らしさを大切に、試験に臨むことを心掛けました。支えてくれた家族や友人、先生方や周りの人々に感謝の気持ちを忘れず、4月からは保育士として、これから出会う人々の気持ちにより添っていきたく思います。

シンガポール 中山 叶子 (日南振徳高校出身)



私は、中学生の頃に海外でグローバルな視野を持って仕事をしたいという夢を持ちました。南九州大学に入学し、保育・教育実習やボランティア、短期語学留学を経験したことで様々な人々と出会い、自分の視野を広げることに楽しさを感じました。海外では新卒での就職は難しいと聞き、日本で就職することを考えた時期もありました。しかし自分のモットーである「様々なことに挑戦し、最後まで諦めない」という精神で、自分に合う国と絶対働きたいと思える国を探し、見つけることが出来ました。今後も常に目標を持ち続け、努力すればきっと叶うと信じ、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに精進していきます。



実習報告

教育実習



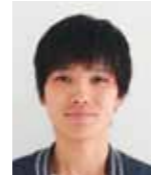
【小学校】
3年 多良 育子
(小林高校出身)

不安と緊張から始まった教育実習でしたが、小学校での3週間はあっという間で、充実した日々を過ごすことができました。実際に現場で過ごすことで、多くの学びや発見がありました。特に研究授業などを通して、授業や学級経営の難しさ、教材研究の大切さを学びました。お忙しい中丁寧に指導して下さった先生方と温かく受け入れてくれた児童達に感謝しています。



【特別支援学校】
4年 上米良 萌香
(宮崎第一高校出身)

私は、児湯るびなす支援学校の高等部で教育実習をさせていただきました。2回の研究授業では、将来を見据えた授業を行う大切さや難しさ、一人一人への支援の重要性など座学だけでは学ぶことの出来ないことを多く学ぶことができました。指導して下さった先生方への感謝の気持ちを忘れず、来年度から教師生活をスタートさせるにあたり、今回の学びを生かせるよう努力していきたいと思っています。



【幼稚園】
3年 澤口 聖
(都城農業高校出身)

15日間の実習を通して、子ども達との関わり、先生方の行動や言葉掛けなど、多くのことを学ぶことができました。子どもと接していく中で、子どもの考えや動きを理解することの難しさや、子どもに対しての援助や声かけに戸惑うこともありましたが、現場の先生方の温かいご指導のおかげにより、無事に実習を終えることができました。今回の実習でより一層保育者になりたいという思いが強くなりました。実習での学びを活かし、今後も努めていきます。

保育実習



【保育所】(保育実習ⅠA)
3年 浜川 彩 (都城工業高校出身)

私は、幼保連携型認定こども園に行きました。優しい先生方や元気いっぱいな子ども達に囲まれて11日間楽しく充実した毎日を送ることができました。8日間は以上児クラス、残りの3日間は0、1歳児クラスに入り、こどもの発達や保育者の援助の違いについて学びました。また、園全体を見ると日々変わっていく環境や子どもへの対応を実際に感じながら、よりよい保育を見つめ直すことの重要性にも気づくことができました。今回学んだことを、今後の実習や現場で活かしていきたいです。



【施設】(保育実習Ⅲ)
4年 谷口 広起 (宮崎北高校出身)

児童養護施設で実習をさせていただきました。これまでの実習経験や反省を活かして支援を行い、幼児から高校生までの子ども達と日常生活を共に過ごしました。先生方は、「いってらっしゃい。」や「お帰りなさい。」などの挨拶を大切に、子どもが安心して生活できる家庭的な環境作りに取り組んでおられることを学びました。また、子どもたちの立場になり考える力が求められていました。今回の実習で得た新たな知見や経験を活かし、子どもの気持ちに寄り添える先生を目標に頑張っていきたいと思っています。

介護等体験



【特別支援学校】
2年 竹村 優輝 (都城西高校出身)

私は10月に都城きりしま支援学校へ2日間、介護等体験に行かせて頂きました。体験内容としては、体験期間中に開催されていた文化祭のお手伝いでした。私は中学部を担当させていただき、2人の生徒さんと一緒に文化祭の準備を行いました。関わり始めた時は、予期しないことが多く起こり、私自身戸惑ってしまっただけのように対処して良い分からない場面があったのですが、先生方が生徒の一つ一つの行動に対して、どのように関われば良いのかを教えてくださいましたので、私も安心して楽しく2人と関わることが出来ました。2日間という短い期間でしたが、実際の教育の現場に関わることができ、非常に貴重な体験をさせていただきました。



【社会福祉施設】
2年 小田 あゆみ (日向高校出身)

私は、就労継続支援事業所太陽で介護等体験をさせていただきました。野菜の袋詰めなどの作業と一緒にさせていただきながら、利用者の方達とコミュニケーションを図らせてもらいました。1日目は緊張してほとんど話すことができませんでした。しかし、実習をしていくうちに話しかけることができ、仲良くなることができました。最終日には利用者さんから話しかけてもらえるなど、コミュニケーションの大切さを学んだ実習でした。

観察実習



【小学校】
2年 鬼束 香奈
(宮崎南高校出身)

3日間という短時間ではありましたが、子ども達の授業を受ける姿を見て、実際の教育現場の雰囲気を感じることができました。これは、大学での講義では得られない学びであり、とても貴重な体験となりました。特に、興味を引きつける授業の工夫や児童を指導する際の配慮を学ぶことができました。子ども達と関わっていく中で、今回の観察実習での経験を来年の教育実習やボランティアに生かしていきたいと思っています。



【特別支援学校】
4年 池上 宏希
(飯野高校出身)

宮崎県中央支援学校に行かせていただきました。大学で学ぶことも大切ですが、実際に教育現場を体験することで多くの学びを得ることができ、特別支援学校での教師の仕事がどのようなものか具体的なイメージをもつことができました。私が観察させていただいた中学部のクラスでは、生徒一人一人の個性を活かした工夫が細かくされていて印象に残りました。4日間と短い間でしたが、学んだことはとても多く私の中で大きな収穫となりました。この観察実習をきっかけに、大学での学びやボランティア活動を積極的に行っていきたいと思いました。



【幼稚園】
2年 江川 千晴
(宮崎日大高校出身)

私は、この観察実習を通して学んだことが大きく2つあります。1つ目は、周りを見て臨機応変に行動することです。観察実習ではありましたが、手伝えるべきだと思うところは、自分で判断し行動しました。常に周りを見て行動することが大切なのだと思いました。2つ目は、子どもの「出来た」をどの先生も大切にしているということです。子どもたちのやる気を引き出し、出来たという喜びにつなげていくことが、どの先生もすごいと思いました。子ども一人一人と向き合って発達段階に沿った保育をしていけるようになりたいと思っています。

上海師範大学短期留学

上海では中国語学部の留学生コースで中国語を学びました。1ヶ月間の留学期中、中国の学生だけでなく他国の学生と友達になり、様々な文化や歴史を知ることができました。また、最初は不安でしたが、慣れない環境で生活することで自分から積極的に行動し、自分に自信が持てるようになりました。中国留学で身につけた積極性や協調性を生かして残りの学生生活につなげていきたいと思っています。

(2年 江川 千晴: 宮崎日大高校出身 / 下山 由佳: 宇土高校出身 / 高橋 京之介: 出水中央高校出身 / 與那覇 真凜: 宮古高校出身)



アメリカ西海岸短期留学

最初は、上手く英語を話せるか不安もありましたが、ホストファミリーや先生方、友達との支えにより少しずつ自信を持てるようになり、現地でのプレゼンテーションを行う中でコミュニケーションの楽しさや伝えることの大切さを感じる事ができました。

(2年 鬼束 香奈: 宮崎南高校出身)
1家族1人のホームステイだったので本当にやっていけるのか少し不安もありましたが、ホストファミリーや先生方が支えて下さり、楽しい日々を送ることができました。現地の小学校でのプレゼンテーションや語学学校のディスカッション等で、伝えることの大切さも学ぶことができ、とても貴重な経験をすることができました。

(2年 原田 礼菜: 都城西高校出身)



あそびの教室

『ボールゲームを作って遊ぶ』は2017年10月28日(土)に開催。4歳から小学3年生9名とその保護者に参加しました。本学からボランティア学生の1年生8名と留学生2名の協力と教員4名が参加しました。保護者は主に、広告紙と割箸を使ったゲームができる工作の制作、子どもたちは段ボールで制作した遊具で遊びました。今後も度々開催して欲しいとの希望や、工作は楽しいという感想も聞かれました。親子のコミュニケーションの活性化の視点で継続開催したいと思います。

(古賀 隆一 教授)



チャレンジ算数教室

小学3年生から6年生を対象として、6月から4回にわたりチャレンジ算数教室を行いました。小学生と保護者合わせて100名ほどの方に参加していただきました。今年度は、中学年と高学年の2つのグループに分かれ体験的活動を取り入れることで数や重さ、図形について楽しく学ぶことができました。この活動を通して大学生自身も算数の奥深さや指導の難しさに気づくことができました。ここで得た経験を将来に生かせるよう努めていきたいです。参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。

(趙 雪梅 准教授)



うたごえ広場

11月24日、「うたごえ広場」の特別企画として佐藤達男さんのギターコンサートがありました。私たち4年生は、フルートとクラリネットと一緒に演奏をさせていただきました。それぞれ吹奏楽部で楽器を演奏していた経験を生かし、これまでもオープンキャンパス等で演奏してきました。今回はこのような素敵な企画へ出演の機会を頂けたことをとても嬉しく思います。美しいギターの音色とともに演奏するのはとても心地良く、思い出に残る演奏会になりました。

(4年 坂元 夕妃: 都城泉ヶ丘高校出身)



学校支援員として活躍しています!

小学校の学校支援員には2つの仕事があります。1つは学校業務の補助です。先生方からの依頼で宿題の丸付けや配布物の印刷をします。2つ目の仕事は、学級に入って学習支援をする仕事です。学習のつまずきのある子への支援などをしています。このような活動を通し、実践的な力を身につけていきたいと思っています。

(4年 高見 美圭: 鹿本高校出身)



4月より、週2日支援員として中学校で活動しています。仕事内容は、資料印刷やデータ入力、課題の丸付けや掲示物の作成など幅広く行っています。業務を行う上で心がけていることは、「素早く丁寧に!」ということです。大学生のうちに学校現場に携わることができ、将来への期待につながりました。また、支援員の活動を通して、先生方や生徒の学校生活をサポートできることにやりがいを感じています。

(4年 有村 夏海: 聖ドミニコ高校出身)



授業紹介

五十嵐亮先生「教育心理学」

五十嵐先生の授業では毎回の授業ごとにその日使う資料が配付されるので、自分で一から板書をまとめる必要がなく、付け足したりラインを引いたりして授業を聞くことができますので集中して先生の講義を受けられます。また、とても復習しやすいので理解が深まる授業です。さらに、疑問点についてその場で考えて周囲と話し合う時間を設けてくださるので、周りとの意見交換もしやすいです。

(1年 池田 悠希: 都城西高校出身 / 稲盛 美和: 都城泉ヶ丘高校出身 / 岩元 愛奈: 高城高校出身)



藤本朋美先生「国語」

平仮名・片仮名の書き順などの基本的なことから、実際に小学校で使われている教材を読み解き、どのような表現がなされているかを考える実践的なことまで、幅広く学ぶことができます。藤本先生は授業で生まれた私たちの疑問にも触れてくださるので問題解決の意欲が高まります。授業で配付される「国語教室通信」ということばや読書に関する通信を毎回読むのが楽しみです。

(2年 原田 礼菜: 都城西高校出身 / 月野 愛弓: 都城泉ヶ丘高校出身)

